brother

かんたん設置ガイド
ネットワーク編

MFC-8380DN
MFC-8890DW

本製品をネットワークに接続してご使用になるための手順を説明しています。
必ず「かんたん設置ガイド 基本編」をお読みになり、本製品を使用可能な状態にしてから本書をお読みください。

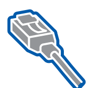
STEP1 本製品の準備をする

⇒「かんたん設置ガイド 基本編」を参照

ドラムユニットなどを取り付けて、本製品を使用可能な状態にします。

STEP2 接続方法の確認・準備（本書）

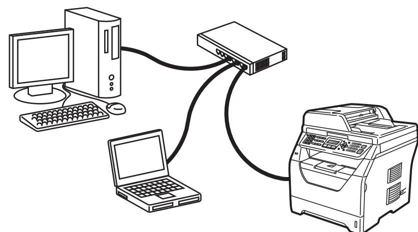
本製品を有線LANまたは無線LANでパソコンに接続します。
USBで接続する場合は「かんたん設置ガイド 基本編」をご覧ください。



有線LAN接続

LANケーブルを使ってネットワーク環境に接続できます。

P.1 を参照してください。

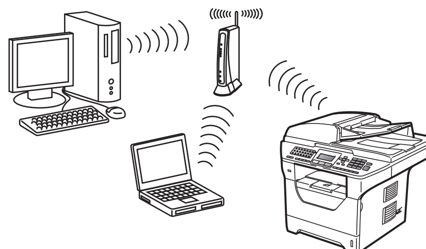




無線LAN接続

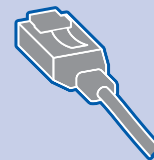
無線LANアクセスポイントを経由する無線LAN環境に接続できます。

P.10 を参照してください。



本書は製品の近くに置いてご活用ください。

有線LAN接続



Windows®
Macintosh

無線LAN接続



Windows®
Macintosh

設定の確認とネットワークユーティリティ

困ったときは トラブル対処方法

付　録

Version A JPN



本製品の準備をする

かんたん設置ガイド（基本編）を参照してください。



有線LAN接続

本製品をパソコン（Windows®やMacintosh）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
イラストはMFC-8380DNで表現しています。
本製品をUSBケーブルまたはパラレルケーブルで接続する場合は、 かんたん設置ガイド（基本編）を参照してください。

1 有線LAN接続の準備をする

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアをお使いの場合の注意事項

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを一時停止させてください。

注意

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンやネットワーク PC ファクスなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

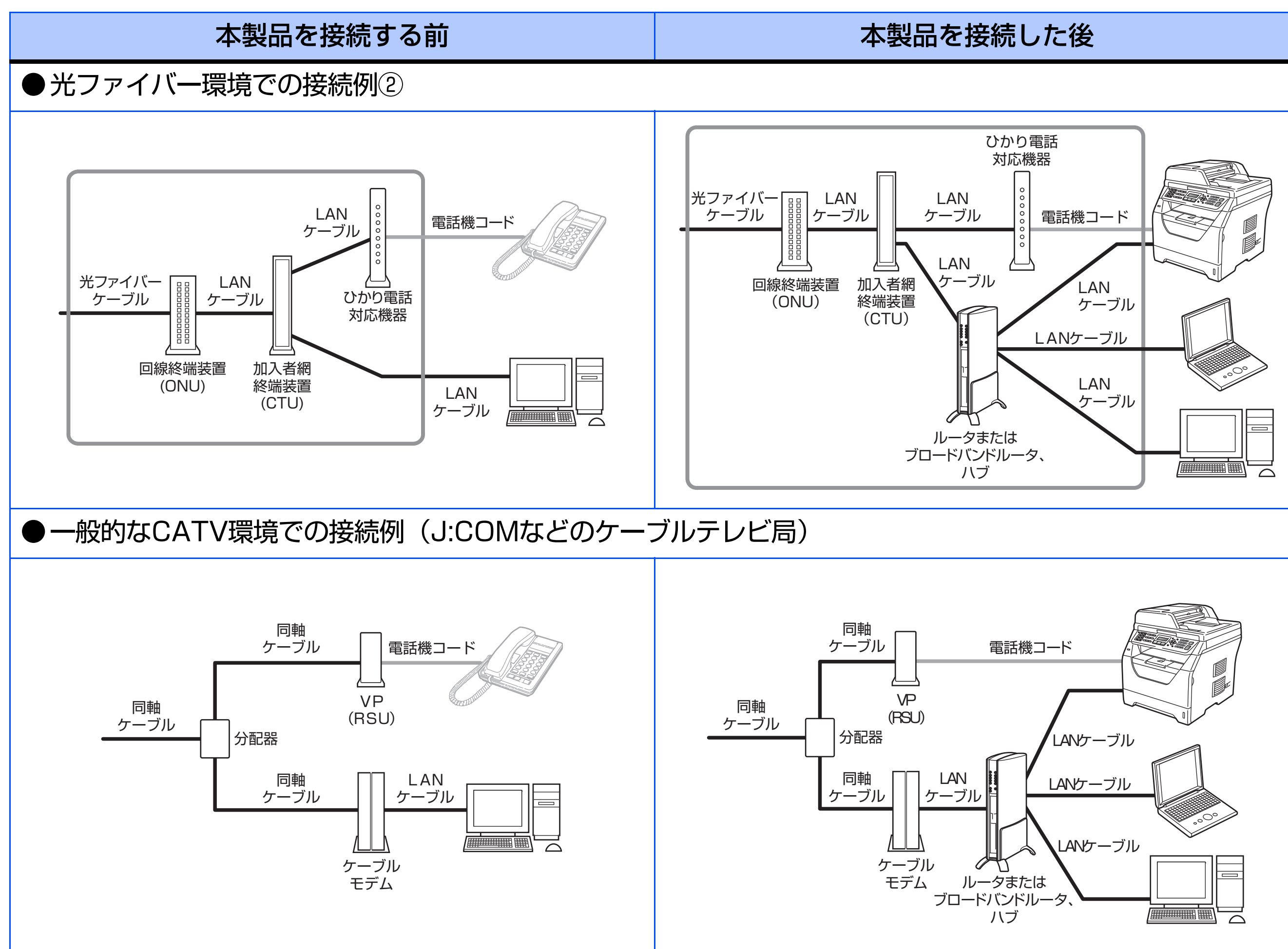
補足

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

ネットワーク環境で複数のパソコンから使用する場合

ADSLや光ファイバー、ケーブルテレビ（CATV）などのインターネット環境で、複数のパソコンを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのパソコンからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●一般的なADSL環境での接続例	
公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル ADSLモデム ※ お使いの機器によっては、□内の機器が一体型になっているものがあります。	公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル LANケーブル LANケーブル ADSLモデム ルータまたはブロードバンドルータ、ハブ
●光ファイバー環境での接続例①	
電話機コード 光ファイバーケーブル LANケーブル ONU（回線終端装置） ひかり電話対応機器 LANケーブル	電話機コード 光ファイバーケーブル LANケーブル LANケーブル LANケーブル LANケーブル ONU（回線終端装置） ひかり電話対応機器



補足

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

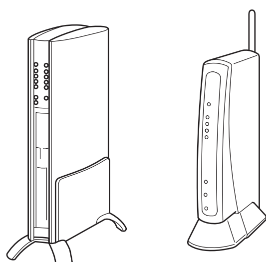
- スプリッタ
  電話（音声）信号とADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- CTU（加入者網終端装置）
  NTT 西日本のひかり回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置です。ルータ、ハブ、パソコン、ひかり電話対応機器などはこの装置に接続します。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）やファクシミリを接続する装置です。
- ルータまたはブロードバンドルータ、ハブ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

※ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

ネットワーク環境に必要なものの準備

1 ルータまたはブロードバンドルータ

ADSLやCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器で一般にルーティング機能やファイアウォール機能、DHCP機能を持っています。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。

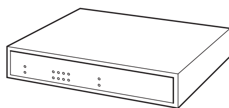


注意

ADSLモデム、またはひかり電話対応機器（ルータ機能付）の環境に無線 LAN ルータなどを追加接続している場合は、追加のルータのDHCP機能などをOFFにしてください。詳しくは、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。

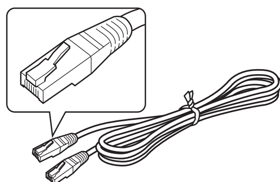
2 ハブ

ネットワーク回線に複数のネットワーク機器を接続する機器です。ファイアウォール機能、DHCP機能は持っていません。



3 LANケーブル

本製品とルータまたはブロードバンドルータを接続するのに必要です。カテゴリ 5 以上の 10BASE-T または 100BASE-TX ストレートケーブルをお使いください。



補足

- LANケーブルは、同梱されていません。
- ルータまたはブロードバンドルータの導入・接続方法については、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- モデム・ONU（回線終端装置）などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。
- 光ファイバーをご利用の場合は、ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

2 ドライバとソフトウェアをインストールする

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアをお使いの場合の注意事項

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを一時停止させてください。

注意

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンやネットワーク PC ファクスなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

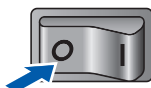
補足

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

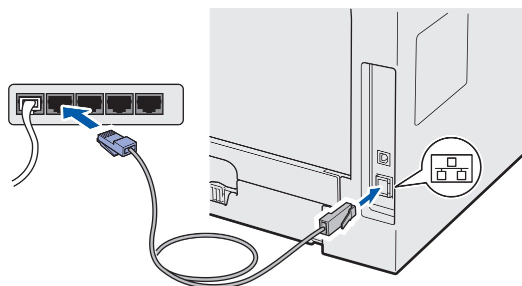
Windows®の場合

起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。
Macintoshの場合は、「Macintoshの場合」P.8を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをOFFにする



2 本製品とルータ、またはブロードバンドルータをLANケーブルで接続する



3 本製品の電源スイッチをONにする

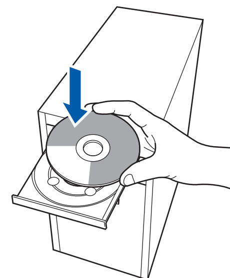


4 パソコンの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

5 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

メイン画面が表示されます。



補足

- 画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。
- 最新のドライバはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）
  ただし、ダウンロードしたドライバには付属のCD-ROM内にあるソフトウェアは含まれません。ソフトウェアをご使用になるには付属のCD-ROMが必要です。

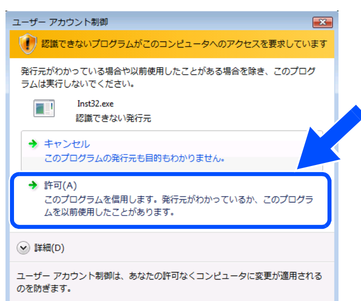
6 ［インストール］をクリックする



7 ［インストール］をクリックする



Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。



- MFC-8380DNは、手順9に進みます。
- MFC-8890DWは、次の手順に進みます。

8 MFC-8890DWのみ：［有線LAN接続(イーサネット)］を選択し、［次へ］をクリックする

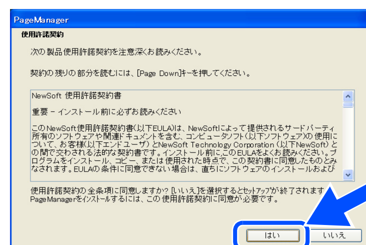


市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

補足

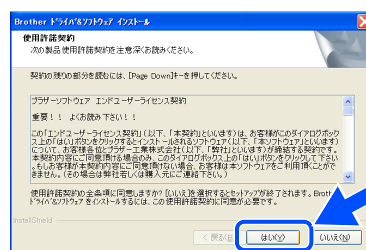
BR-Script3プリンタドライバをインストールする場合は、［カスタム］を選択し［次へ］をクリックしてください。コンポーネントの選択画面が表示されたら、［BR-Script3プリンタドライバ］チェックボックスを選択し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

9 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

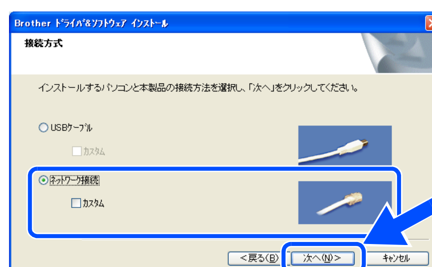


- 画像ビューワーソフト「Presto! PageManager」がインストールされます。
- Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

10 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする



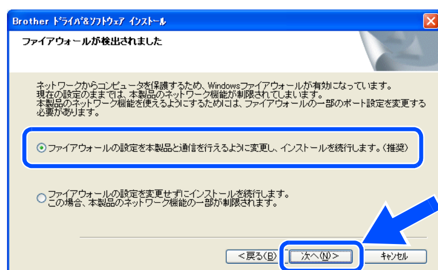
11 MFC-8380DN のみ：［ネットワーク接続］を選択し、［次へ］をクリックする



市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

次ページへ続く

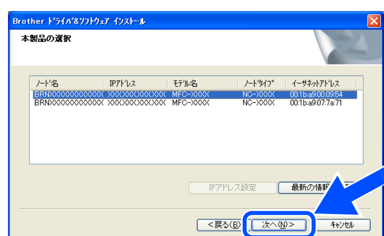
12 Windows® XP SP2以降/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® をお使いの方で、以下のスクリーンが表示されたら、[ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します] を選択し、[次へ] をクリックする



パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を使用している方は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークスキャン：UDPポート 54925
- ネットワーク PC ファクス受信：UDP ポート 54926
- これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

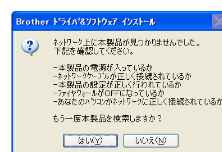
13 リストから使用する機器を選択して [次へ] をクリックする



- 画面のIPアドレス欄にAPIPAと表示された場合は、[IPアドレス設定] をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品のIPアドレスを入力します。
- 同じモデル名が2つ以上ある場合は、IPアドレスから使用する本製品を選択します。IP アドレスを調べるときは「ネットワーク設定リスト」を印刷します。印刷方法は「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24 を参照してください。

注意

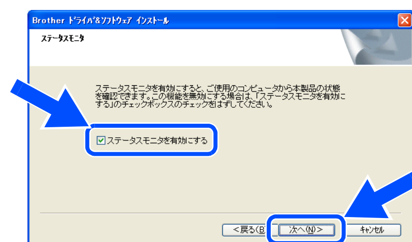
■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、[はい] をクリックして再度検索を行います。



■それでも検索されない場合は、[いいえ] をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、IPアドレスなどを設定してください。

■「インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない」P.30 もご覧ください。

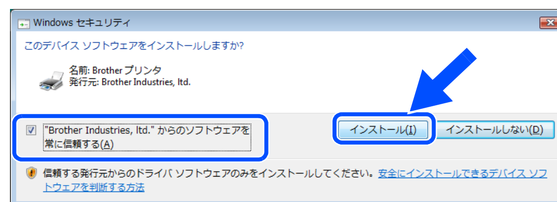
14 ステータスモニターを無効にする場合は、チェックを外し [次へ] をクリックする



- ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
- このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

補足

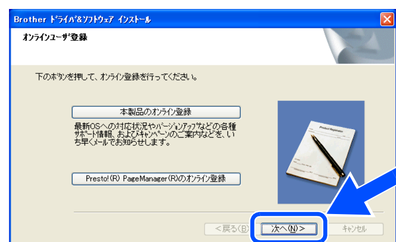
Windows Vista®をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、["Brother Industries, ltd."からのソフトウェアを常に信頼する] を選択し、インストールを完了させてください。



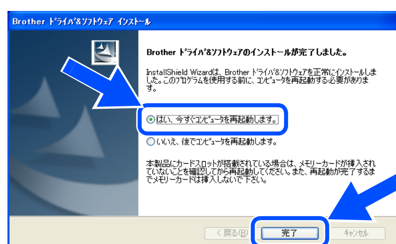
15 ユーザー登録をする

[本製品のオンライン登録] や [Presto! PageManagerのオンライン登録] をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。

16 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

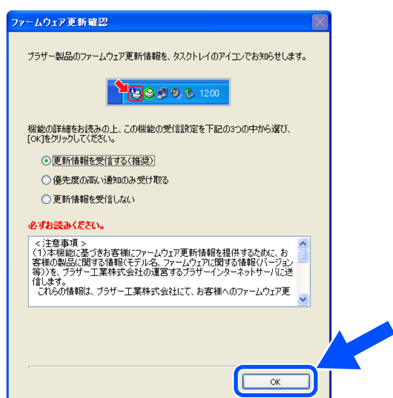


17 ［はい］を選択して［完了］をクリックする



パソコンが再起動しますので、引き続き次の手順へお進みください。

18 次の画面が表示されたときは、ファームウェア更新確認の受信設定をし［OK］をクリックする



OK! ［ドライバ＆ソフトウェア］のインストールが完了しました。

注意

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista®専用のプリンタドライバです。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

接続方法を設定する（MFC-8890DWのみ）

使用する接続方法の設定をしてください。
お買い上げ時は有線LAN：有効、無線LAN：無効に設定されています。

1 メニュー 7 PQRS 2 ABC 7 PQRS を押す

2 ▲▼で使用する接続方法を選択し、OK を押す

- 有線 LAN を使用する場合は、［オフ］を選択します。
- 無線 LAN を使用する場合は、［オン］を選択します。

3 停止/終了 を押す

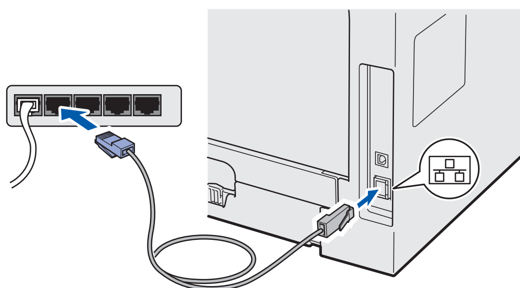
Macintoshの場合

起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。
Windows®の場合は、「Windows®の場合」P.4を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする

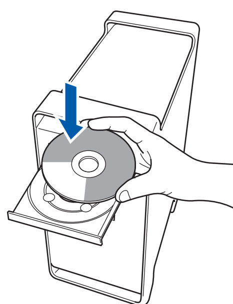


2 本製品とルータ、またはブロードバンドルータをLANケーブルで接続する



3 Macintoshの電源を入れる

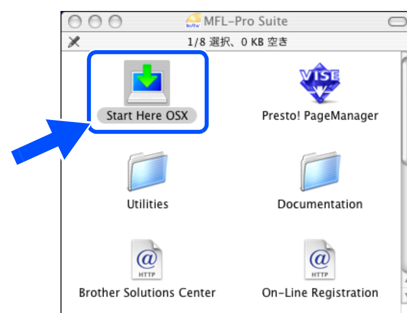
4 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする



補足
最新のドライバはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）
ただし、ダウンロードしたドライバには付属のCD-ROM内にあるソフトウェアは含まれません。ソフトウェアをご使用になるには付属のCD-ROMが必要です。

5 [Start Here OSX] をダブルクリックする

MFC-8380DNは、画面の指示に従ってインストールを進めてください。インストールが終わると、Macintoshの再起動を指示する画面が表示されます。[再起動] をクリックして手順7へお進みください。



補足
BR-Script3 プリンタドライバをインストールする場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。（MFC-8890DWのみ）

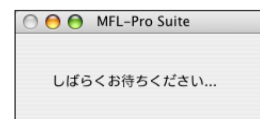
6 MFC-8890DWのみ：[有線LAN接続（イーサネット）] を選択し、[次へ] をクリックする

- 画面の指示に従ってインストールを進めてください。



- インストールが終わると、Macintoshの再起動を指示する画面が表示されます。[再起動] をクリックしてください。

7 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する



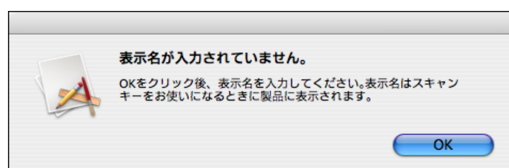
8 本製品を選んで、[OK] をクリックする



同じモデル名が2つ以上ある場合は、表示される製品名の後ろにMACアドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。MACアドレスをもとに本製品を選択します。

補足

- 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして表示名を入力してください。



- 「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。
- 表示名は15文字以内で入力します。入力した内容がスキャンキー使用時に本製品の液晶ディスプレイに表示されます。



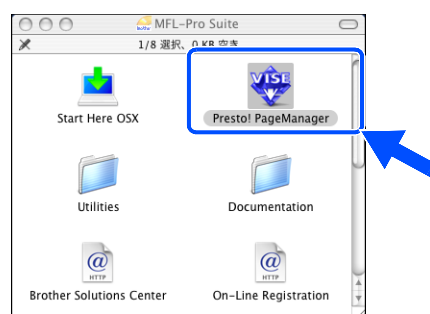
- スキャンした原稿データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4桁の数字をパスワードとして登録します。

9 確認画面で [OK] をクリックする



10 [Presto! PageManager] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Presto! PageManagerがインストールされます。

補足

Presto! PageManagerをインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! **インストールが完了しました。**

接続方法を設定する（MFC-8890DWのみ）

使用する接続方法の設定をしてください。
お買い上げ時は有線LAN：有効、無線LAN：無効に設定されています。

1 メニュー 7 PQRS 2 ABC 7 PQRS を押す

2 ▲ ▼ で使用する接続方法を選択し、OK を押す

- 有線LANを使用する場合は、[オフ]を選択します。
- 無線LANを使用する場合は、[オン]を選択します。

3 停止/終了 を押す

STEP1 本製品の準備をする

かんたん設置ガイド（基本編）を参照してください。

STEP2 無線LAN接続（MFC-8890DWのみ）

本製品をパソコン（Windows®／Macintosh）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
本製品をUSBケーブルまたはパラレルケーブルで接続する場合は、かんたん設置ガイド（基本編）を参照してください。

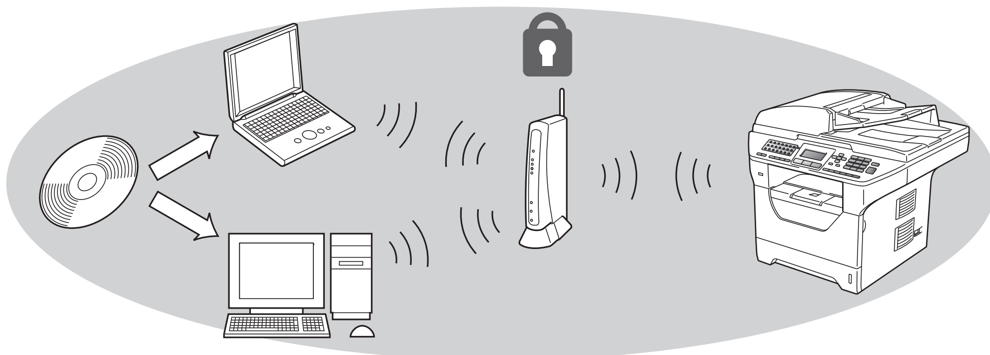
1 無線LAN環境で使用する場合 11ページ



2 無線LANに参加させる 15ページ

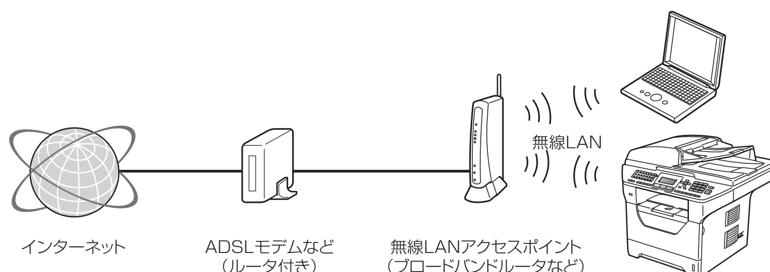


3 ドライバとソフトウェアをインストールする 18ページ



1 無線LAN環境で使用する場合

本製品は、無線LANアクセスポイントを経由する無線LAN（インフラストラクチャモード）環境に接続できます。以下の環境が整っていることを確認してください。
対応OSなど、必要な環境については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



補足

本書では、インフラストラクチャモードの無線LAN環境の場合の接続方法について説明しています。アドホックモード（無線LANアクセスポイントを経由せずに使うモード）で無線LANをお使いの場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

無線LAN環境で使用する場合の注意点

●設置に関する注意

- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線LANアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

●通信に関する注意

環境によっては、有線LAN接続やUSB接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

注意

■アクセスポイントの接続、設定については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

■無線LANの設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品のLAN設定を初期化してから進めてください。初期化方法については、P.25を参照してください。

■USBケーブルやLANケーブルが接続されている場合は、ケーブルを本製品から外してください。

■本製品では、有線LANと無線LANを同時に使用できません。

■本製品にUSBフラッシュメモリーが挿し込まれていないことを確認してください。

■ADSLモデム、またはひかり電話対応機器（ルータ機能付）の環境に無線LANルータ等を追加接続している場合は、追加のルータのDHCP機能等をOFFにしてください。詳しくは、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。

パソコン	アクセスポイントに無線LAN、または有線LANで接続されており、ネットワークに接続できる状態になっていることを確認します。
無線LANアクセスポイント（無線LANルータなど）	IEEE802.11b/gに対応した製品が必要です。

無線LAN設定に必要な情報を確認する

本製品は、SES機能、WPS機能、AOSS™機能での自動設定、または操作パネルでの手動設定で無線LANを設定できます。

WPS機能で自動設定する

以下の条件を満たす場合、本製品と無線LANアクセスポイント（ルータなど）の接続・設定をかんたんに行うことができます。

ご使用の無線LANアクセスポイント（ルータなど）がWPSに対応している	Wi-Fi PROTECTED SETUP
すでに無線ネットワークをお使いで、セキュリティをWPSで設定している	

注意

■お使いの無線LANアクセスポイントがWPSに対応しているかどうかわからない場合は、メーカーにお問い合わせください。WPSで設定しない場合は、操作パネルから手動設定します。

■PIN方式を使用したい場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」をご覧ください。

確認できたら、以下の手順に従って設定してください。

「SES/WPS/AOSS™機能で自動設定する」

P.15

SES機能で自動設定する

以下の条件を満たす場合、本製品と無線LANアクセスポイント（ルータなど）の接続・設定をかんたんに行うことができます。

ご使用の無線LANアクセスポイント（ルータなど）がSESに対応している	Secure Easy Setup
すでに無線ネットワークをお使いで、セキュリティをSESで設定している	

注意

お使いの無線LANアクセスポイントがSESに対応しているかどうかわからない場合は、メーカーにお問い合わせください。SESで設定しない場合は、操作パネルから手動設定します。

確認できたら、以下の手順に従って設定してください。

「SES/WPS/AOSS™機能で自動設定する」

P.15

AOSS™機能で自動設定する

以下の条件を満たす場合、本製品と無線LANアクセスポイント（ルータなど）の接続・設定をかんたんに行うことができます。

ご使用の無線LANアクセスポイント（ルータなど）がAOSS™に対応している ※無線LANアクセスポイントに右のロゴマークが付いているかを確認してください。	AOSS™
すでに無線ネットワークをお使いで、セキュリティをAOSS™で設定している	

注意

お使いの無線LANアクセスポイントがAOSS™に対応しているかどうかわからない場合は、メーカーにお問い合わせください。一般的には、無線LANアクセスポイントのAOSS™ランプ点灯などで確認できます。AOSS™で設定しない場合は、操作パネルから手動設定します。

確認できたら、以下の手順に従って設定してください。

「SES/WPS/AOSS™機能で自動設定する」

P.15

操作パネルで手動設定する

手動で設定するには、お使いの無線ネットワークの情報が必要です。まず、無線 LAN アクセスポイント（ルータなど）の設定内容を確認し、太枠内に記入してください。

注意

太枠内に記入しないで次のステップに進んでも、無線LANに接続できません。必ず情報を確認してください。また、ネットワークの情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

1 無線ネットワークの名前を調べる

SSID（ESSID）	

2 無線 LAN のセキュリティ方式とパスワードを調べる

(1) セキュリティなしの場合

設定は、以下になります。特に確認の必要はありません。

認証方式	オープンシステム認証	(A)
暗号化キー	なし	

(2)「WEP」の場合

認証方式（『オープンシステム認証』または『共有キー認証』）とパスワード（WEPキー）を調べます。

WEP キーの長さは、5/10/13/26 文字のいずれかです。

認証方式	オープンシステム認証	(B)
WEPキー		

または

認証方式	共有キー認証	(C)
WEPキー		

(3)「TKIP」の場合

パスワード（暗号化キー）を調べます。

暗号化キーは、大文字／小文字や「0（ゼロ）」／「O（オー）」などに気をつけて、正確に確認してください。

認証方式	WPA-PSK	(D)
暗号化キー		
暗号化方法	TKIP	

(4)「AES」の場合

パスワード（暗号化キー）を調べます。

暗号化キーは、大文字／小文字や「0（ゼロ）」／「O（オー）」などに気をつけて、正確に確認してください。

認証方式	WPA-PSKまたは WPA2-PSK	(E)
暗号化キー		
暗号化方法	AES	

■ 必要に応じて、下記の項目を調べてください。

暗号化キーは、大文字／小文字や「0（ゼロ）」／「O（オー）」などに気をつけて、正確に確認してください。

認証方式	EAP-FAST	(F)
ユーザーID		
パスワード		
暗号化方法	TKIP	

または

認証方式	EAP-FAST	(G)
ユーザーID		
パスワード		
暗号化方法	AES	

または

認証方式	LEAP	(H)
ユーザーID		
パスワード		
暗号化方法	CKIP	

☞次ページへ続く



アクセスポイントにアクセス制限が設定されているか調べる（MACアドレス・フィルタリング）

無線LANアクセスポイント（ルータなど）によっては、「登録した機器しか通信させない」という、アクセス制限のセキュリティがかかっていることがあります。その場合、本製品の情報をあらかじめ無線LANアクセスポイントに登録して、本製品からのアクセスを許可させる必要があります。登録のため、本製品のMACアドレス（機械固有の番号）を調べるときは、無線LANの設定がオンになっていることを確認後、ネットワーク設定リストを印刷して、「MAC Address」の行を確認してください。「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24

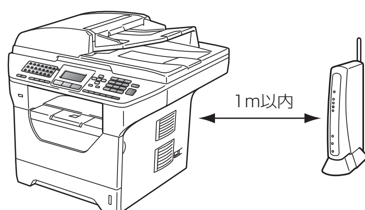
1 SSIDと2 (A)から(I)のいずれかを記入したら、以下の手順に従って設定してください。

「操作パネルで手動設定する」P.16

2 無線LANに参加させる

SES/WPS/AOSS™機能で自動設定する

1 本製品と無線LANアクセスポイントを1m以内に近づける



2 本製品の電源スイッチをONにする



3 メニュー 7 PQRS 2 ABC 3 DEF を押す

すでに無線LANの設定が有効になっている場合は、無線を有効にする画面は表示されません。

```
72.無線LAN
  無線LAN有効 ?
▲    オン           *
▼    オフ
▲▼で選択&OKボタン
```

4 無線LANの設定を有効にしていない場合は ▲▼ で［オン］を選択し、OK を押す

本製品から接続できる無線ネットワークが自動的に約2分間、検索されます。検索中に手順5の操作をしてください。

```
72.無線LAN
  3.SES/WPS/AOSS

無線接続中
```

5 無線 LAN アクセスポイントの SES、WPS または AOSS™ ボタンを数秒間押す

詳しい設定方法は、お使いの 無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
自動接続が開始されます。

補足

- 無線電波の強さは、液晶ディスプレイの待ち受け画面で確認できます。
- 「接続に失敗しました」などのメッセージが表示された場合は、「無線LANアクセスポイントに接続できない（MFC-8890DWのみ）」P.29 をご覧ください。

6 液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されたことを確認する

引き続き、ドライバとソフトウェアをインストールしてください。

OK! 無線LANの設定は完了しました。
続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。P.18

Windows®の場合 P.18

Macintoshの場合 P.22

補足

アクセスポイントにDHCP機能がない場合、製品のIPアドレス、サブネットマスクなど、手動で設定してください。

操作パネルで手動設定する

本製品の操作パネルからウィザード形式で、SSID、認証方式、暗号化方式、ネットワークキーを設定します。

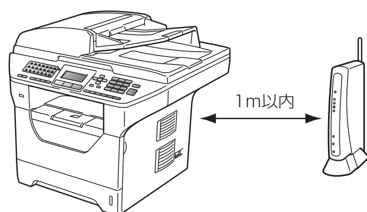
注意

- 本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。「操作パネルで手動設定する」P.13
- 本製品の有線LANが既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（ネットワーク設定リセット）」P.25 を参照してください。

補足

操作パネルの文字の入力方法については、ユーザーズガイド（印刷版）の付録「文字を入力する」を参照してください。

1 **本製品と無線LANアクセスポイントを1m以内に近づける**



2 **本製品の電源スイッチをONにする**



3 **メニュー 7 PQRS 2 ABC 2 ABC を押す**

すでに無線 LAN の設定が有効になっている場合は、無線を有効にする画面は表示されません。

```
72. 無線LAN
  無線LAN有効 ?
▲    オン          *
▼    オフ
▲▼で選択&OKボタン
```

4 **無線LANの設定を有効にしていない場合は ▲▼ で［オン］を選択し、OK を押す**

無線 LAN の設定ウィザードが起動し、本製品から接続できる無線ネットワークが自動的に検索されます。

```
72. 無線LAN
  2. 無線接続ウィザード

SSID検索中
```

5 **▲▼ でSSIDを選択し、OK を押す**

13ページの手順1で記入したSSIDを選択します。

```
72. 無線LAN
  SSID
▲     XXXXX
▼     XXXXX
▲▼で選択&OKボタン
```

6 **▲▼ で通信モードを選択し、OK を押す**

補足

接続先のSSID が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。

1. ▲▼ で〈New SSID〉を選択し、OK を押す
2. ダイヤルボタンで接続先のSSIDを入力し、OK を押す
3. ▲▼ で通信モードを選択し、OK を押す

［インフラストラクチャ］または［アドホック］のいずれかを選択します。

※［アドホック］で［なし］を選択した場合は、手順7に進みます。
［アドホック］で［WEP］を選択した場合は、WEP キーを入力すると、手順7に進みます。

7 認証方式と暗号化方式を設定する

13ページの手順2で記入した（A）～（H）のいずれかの項目を設定します。

(A) オープンシステム認証で暗号化なしの場合

(1) ▲▼で［オープンシステム認証］を選択し、OKを押す

(2) ▲▼で［なし］を選択し、OKを押す

(B) オープンシステム認証で暗号化方式がWEPの場合

(1) ▲▼で［オープンシステム認証］を選択し、OKを押す

(2) ▲▼で［WEP］を選択し、OKを押す

(3) ▲▼で使用するWEPキーを選択し、OKを押す
キーが［***************］と表示されている場合は、［1.変更 2.変更しない］と表示されるので、1を押してください。

(4) 13ページで記入したWEPキーを入力し、OKを押す

(C) 共有キー認証で暗号化方式がWEPの場合

(1) ▲▼で［共有キー認証］を選択し、OKを押す

(2) ▲▼で使用するWEPキーを選択し、OKを押す
キーが［***************］と表示されている場合は、［1.変更 2.変更しない］と表示されるので、1を押してください。

(3) 13ページで記入したWEPキーを入力し、OKを押す

(D)(E) WPA/WPA2-PSKで暗号化方式がTKIPまたはAESの場合

(1) ▲▼で［WPA/WPA2-PSK］を選択し、OKを押す

(2) ▲▼で［TKIP］または［AES］を選択し、OKを押す

(3) 13ページで記入したネットワークキーを入力し、OKを押す

(F)(G) EAP-FASTで暗号化方式がTKIPまたはAESの場合

(1) ▲▼で［EAP-FAST/NONE］、［EAP-FAST/MSCHAP］または［EAP-FAST/GTC］を選択し、OKを押す

(2) ▲▼で［TKIP］または［AES］を選択し、OKを押す

(3) 13ページで記入したユーザー IDを入力し、OKを押す

(4) 13ページで記入したパスワードを入力し、OKを押す

(H) LEAPで暗号化方式がCKIPの場合

(1) ▲▼で［LEAP］を選択し、OKを押す

(2) 13ページで記入したユーザー IDを入力し、OKを押す

(3) 13ページで記入したパスワードを入力し、OKを押す

8 1を押す

2 ABCを押すとSSIDの選択に戻ります。手順5からやり直してください。

```
72.無線LAN
 設定を適用しますか?
▲    1.はい
▼    2.いいえ
▲▼で選択&OKボタン
```

本製品と接続先の機器（無線LANアクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。

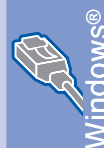
補足

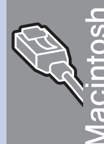
- 接続できなかった場合は、ネットワーク設定をリセットしP.25、手順3からやり直してください。
- アクセスポイントにDHCP機能がない場合、製品のIPアドレス、サブネットマスクなど、手動で設定してください。

OK! 無線LANの設定は完了しました。
続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。P.18

Windows®の場合 P.18

Macintoshの場合 P.22









3 ドライバとソフトウェアをインストールする

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアをお使いの場合の注意事項

パーソナルファイアウォールやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを一時停止させてください。

注意

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンやネットワーク PC ファクスなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

補足

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

Windows®の場合

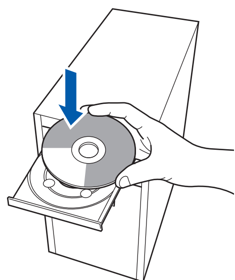
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。
Macintoshの場合は、「Macintoshの場合」P.22を参照してください。

1 パソコンの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

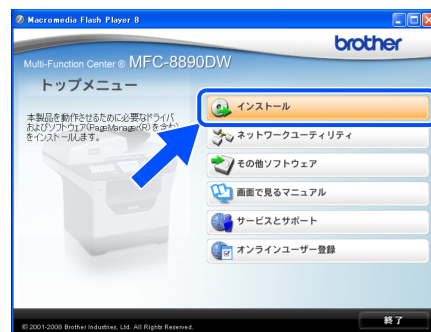
メイン画面が表示されます。



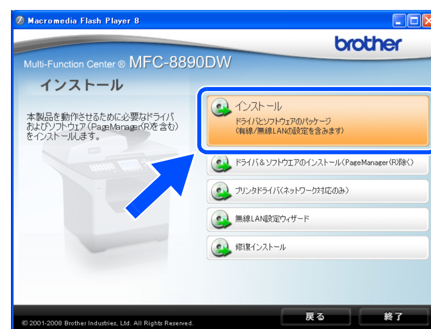
補足

- 画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。
- 最新のドライバはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）
ただし、ダウンロードしたドライバには付属のCD-ROM内にあるソフトウェアは含まれません。ソフトウェアをご使用になるには付属のCD-ROMが必要です。

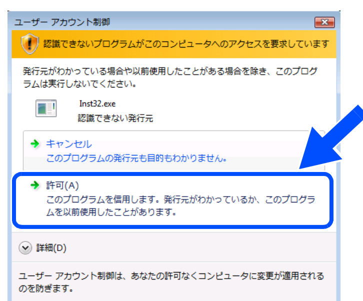
3 ［インストール］をクリックする



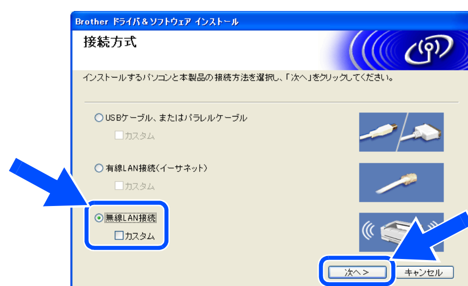
4 ［インストール］をクリックする



Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。



5 ［無線LAN接続］を選択し、［次へ］をクリックする

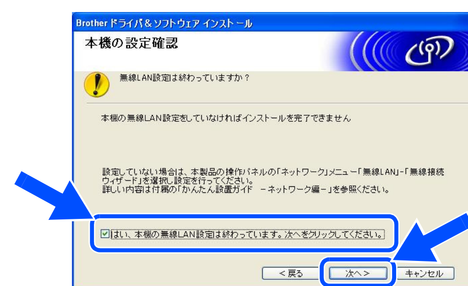


市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

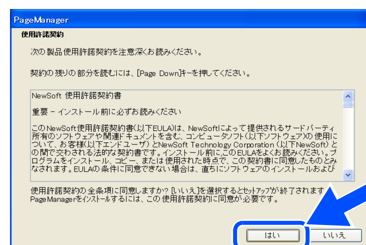
補足

BR-Script3プリンタドライバをインストールする場合は、［カスタム］を選択し［次へ］をクリックしてください。コンポーネントの選択画面が表示されたら、［BR-Script3プリンタドライバ］チェックボックスを選択し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

6 チェックボックスをチェックし、［次へ］をクリックする

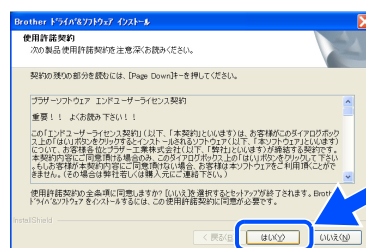


7 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

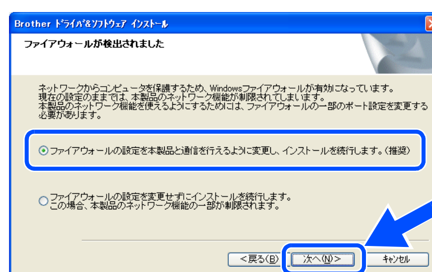


- 画像ビューワーソフト「Presto! PageManager」がインストールされます。
- Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

8 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする



9 Windows® XP SP2 以降 /XP Professional x64 Edition/Windows Vista® をお使いの方で、以下のスクリーンが表示されたら、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します］を選択し、［次へ］をクリックする





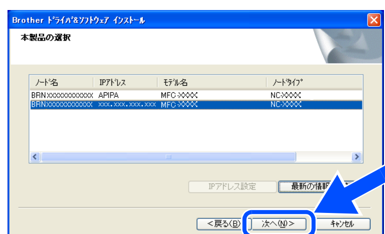


次ページへ続く

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を使用している方は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークスキャン：UDPポート 54925
- ネットワーク PC ファクス受信：UDP ポート 54926
- これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

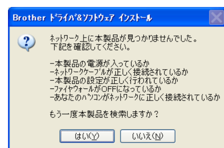
10 リストから使用する機器を選択して［次へ］をクリックする



- 画面のIPアドレス欄にAPIPAと表示された場合は、［IPアドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品のIPアドレスを入力します。
- 同じモデル名が2つ以上ある場合は、IPアドレスから使用する本製品を選択します。IP アドレスを調べるときは「ネットワーク設定リスト」を印刷します。印刷方法は「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24を参照してください。

注意

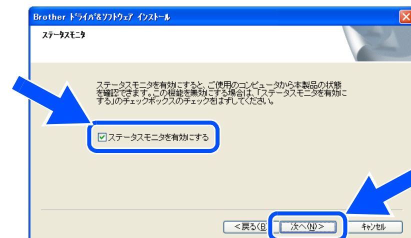
■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。



■それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、IPアドレスなどを設定してください。

■IPアドレスを調べるときは「ネットワーク設定リスト」を印刷します。印刷方法は「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24を参照してください。

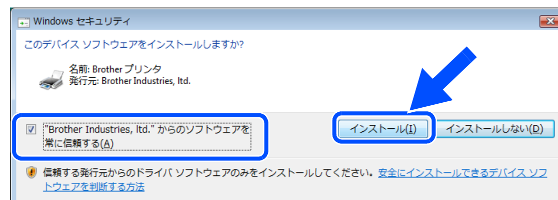
11 ステータスモニターを無効にする場合は、チェックを外し［次へ］をクリックする



- ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
- このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

補足

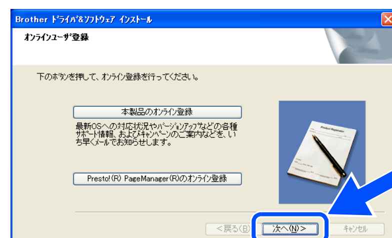
Windows Vista®をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、［"Brother Industries, ltd."からのソフトウェアを常に信頼する］を選択し、インストールを完了させてください。



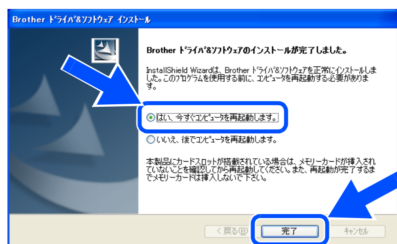
12 ユーザー登録をする

［本製品のオンライン登録］や［Presto! PageManagerのオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。

13 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

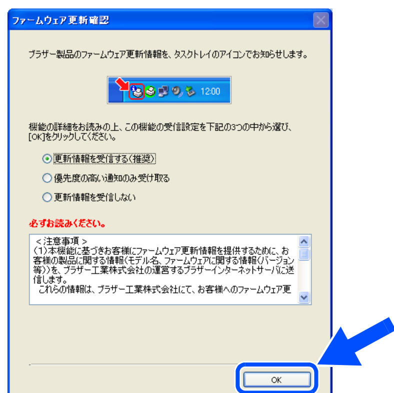


14 [はい] を選択して [完了] をクリックする



パソコンが再起動しますので、引き続き次の手順へお進みください。

15 次の画面が表示されたときは、ファームウェア更新確認の受信設定をし [OK] をクリックする



OK! [ドライバ＆ソフトウェア] のインストールが完了しました。

注意

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista®専用のプリンタドライバです。

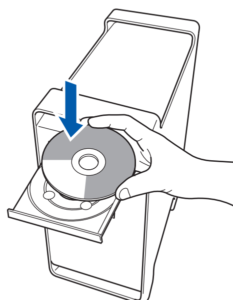
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

Macintoshの場合

起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。
Windows®の場合は、「Windows®の場合」P.18を参照してください。

1 Macintoshの電源を入れる

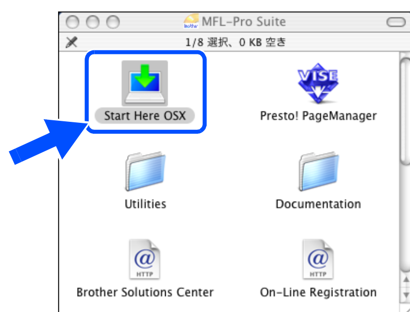
2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする



補足

最新のドライバはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）
ただし、ダウンロードしたドライバには付属のCD-ROM内にあるソフトウェアは含まれません。ソフトウェアをご使用になるには付属のCD-ROMが必要です。

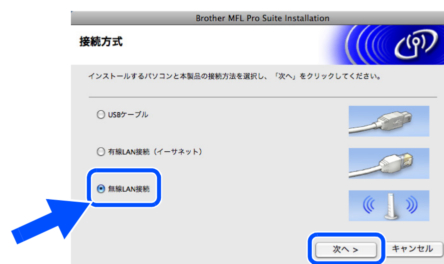
3 ［Start Here OSX］をダブルクリックする



補足

BR-Script3 プリンタドライバをインストールする場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

4 ［無線LAN接続］を選択し、［次へ］をクリックする

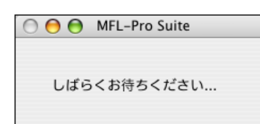


5 チェックボックスをチェックして、［次へ］をクリックする



- 画面の指示に従って、インストールを進めてください。
- インストールが終わると、Macintoshの再起動を指示する画面が表示されます。
［再起動］をクリックしてください。

6 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する



7 本製品を選んで、[OK] をクリックする

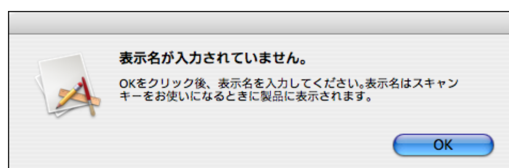


MACアドレス

同じモデル名が2つ以上ある場合は、表示される製品名の後ろにMACアドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。MACアドレスをもとに本製品を選択します。

補足

●以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして表示名を入力してください。



●「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。

●表示名は15文字以内で入力します。入力した内容がスキャンキー使用時に本製品の液晶ディスプレイに表示されます。



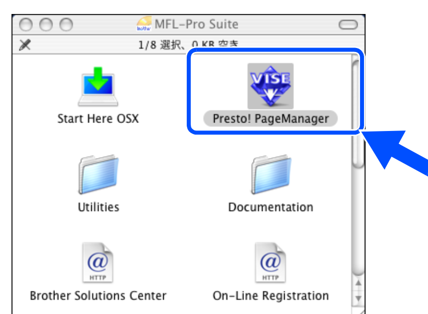
●スキャンした原稿データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4桁の数字をパスワードとして登録します。

8 確認画面で [OK] をクリックする



9 [Presto! PageManager] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Presto! PageManagerがインストールされます。

補足

Presto! PageManagerをインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! **インストールが完了しました。**

ネットワーク設定の確認と初期化

Webブラウザで管理する

本製品をネットワーク接続で使用している場合、本製品に内蔵されているHTTPサーバを使用して、Webブラウザから設定を確認、変更することができます。

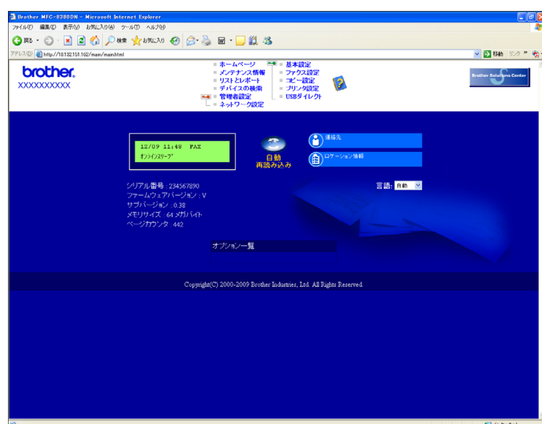
補足

- お買い上げ時はユーザー名は「admin」、パスワードは「access」に設定されています。
- Webブラウザで管理を行うためには、本製品のIPアドレスを確認する必要があります。IPアドレスの確認方法は、「ネットワーク設定リスト」を印刷する、または「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24
- 対応しているWebブラウザは次のとおりです。
  Windows®の場合
  Microsoft® Internet Explorer® 6.0以降(JavaScript有効・Cookie有効)
  Mozilla Firefox1.0以降（JavaScript有効・Cookie有効)
  Macintoshの場合
  Safari1.3以降

1 Webブラウザを起動する

2 アドレス入力欄にhttp://XXXXXを入力する

- XXXXXは本製品のIPアドレスです。
- IPアドレスは、「ネットワーク設定リスト」で確認できます。印刷方法は、「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24を参照してください。



補足

Web ブラウザを使った管理方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

ネットワーク設定リストを印刷する

ネットワーク設定を確認するためのネットワーク設定リストを印刷します。

1 メニュー 6 MNO 7 PQRS を押す

2 「スタートボタンを押してください」と表示されたら  を押す

ネットワーク設定リストが印刷されます。

補足

印刷をする前に、使用している接続方法を確認してください。P.7

ネットワーク接続状態を確認する

ネットワーク設定リストの項目を確認します。

① <MAC Address>
② <Node name>

③ IP Address
④ Subnet Mask

⑤ <Ethernet Link Status>
または
<Wireless Link Status>

```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                  Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<MAC Address>                00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                  BRN8A894A

<Active services>            BRN8A894A_P1
                             BINARY_P1
                             TEXT_P1
                             POSTSCRIPT_P1
                             PCL_P1
                             BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled         IPv6          Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled         APIPA         Enabled
 HTTP Port80     Enabled         IPP Port631   Enabled
 HTTPS Port443   Disabled        POP3/SMTP     Enabled
 FTP             Enabled         TFTP          Enabled
 mDNS            Enabled         SNMP          Enabled
 LegacyAuth      Enabled         TELNET        Enabled
 LPD             Enabled         Raw Port      Enabled
 LDAP            Disabled        LLTD          Disabled
 Net Scan        Enabled         PC-FAX        Enabled
 Remote Setup    Enabled         WebServices   Enabled

 IP Address                  192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                 255.255.255.0
 Boot Method                 STATIC
 Boot Tries                  3
 IP Filter                   Disabled

 GW Timeout (sec)            5
 DNS Address Config          AUTO
 Primary DNS Server          192.168.3.1
 Secondary DNS Server        133.151.111.103

<NetBIOS Name>               BRN8A894A
<WINS Address Config>        AUTO
<Primary WINS Server>        133.151.111.102
<Secondary WINS Server>      133.151.111.103

<Printer Mail Address>       xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                133.151.236.10
<SMTP Port>                  25
<POP3 Server>                0.0.0.0
<POP3 Port>                  110
<POP3 Polling Freq. (sec)>   600

<mDNS Service Name>          Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>           Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                      None

<Ethernet Link Status>       Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received         684307
Bad Packets Received          0
Receiver overruns             0
Packets Transmitted       48816
Transmit packet fail          0
Packet Collisions             0
```

①<MAC Address>
機械固有の番号です。
Ethernet Addressとも呼ばれています。

②<Node name>
アドレスを指定する名称です。
「BRN」で始まる場合は有線LAN、「BRW」で始まる場合は無線LANであることを示します。

③<IP Address>
ネットワーク上に登録された本製品の番号を示します。

補足

「0.0.0.0」が印刷された場合は、下記が考えられます。
- 本製品がまだ起動中
- 有線LANの場合：LANケーブルが本製品に接続されていない
- 無線LANの場合：無線LANアクセスポイントに接続されていない

約1分待ってからもう一度ご確認ください。

④<Subnet Mask>
IP Address（IPアドレス）に被せるマスクと考えてください。
通常は「255.255.255.0」であれば問題ありません。

補足

「0.0.0.0」が印刷された場合は、下記が考えられます。
- 本製品がまだ起動中
- 有線LANの場合：LANケーブルが本製品に接続されていない
- 無線LANの場合：無線LANアクセスポイントに接続されていない

約1分待ってからもう一度ご確認ください。

⑤<Ethernet Link Status>：有線LANの接続状態を示します。
「Link OK」が印刷されていれば正常に接続されています。
<Wireless Link Status>：無線LANの接続状態を示します。
「Link OK」が印刷されていれば正常に接続されています。

補足

有線LAN接続で「Link DOWN」が印刷された場合、または無線LAN接続で「Failed to Associate」が印刷された場合は、正しく接続されていません。ケーブルやハブ（HUB）を確認してください。

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（ネットワーク設定リセット）

現在のネットワーク設定を全て初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

補足

この設定では、IPアドレスやメールアドレスなどすでに設定されているネットワークのすべての情報を初期化します。「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

1 メニュー 7 PQRS 0 を押す

2 1 を押す

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

3 1 を押す

- 数秒後に本製品が再起動します。
- 2 ABC で設定メニューへ戻ります。

ネットワークユーティリティ

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されたブラザー製品を設定するユーティリティソフトです。
ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。
Mac OS Xを使用している場合は、ドライバをインストールするとBRAdmin Lightも同時にインストールされます。

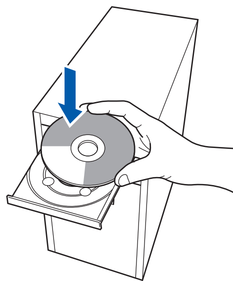
Windows®でBRAdmin Lightを使う

Windows® では、付属の CD-ROM から BRAdmin Lightをインストールします。

インストールする

1 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

自動的に初期画面が現れます。画面の指示に従って操作してください。



補足

最新のドライバはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）
ただし、ダウンロードしたドライバには付属のCD-ROM内にあるソフトウェアは含まれません。ソフトウェアをご使用になるには付属のCD-ROMが必要です。

2 ［ネットワークユーティリティ］をクリックする

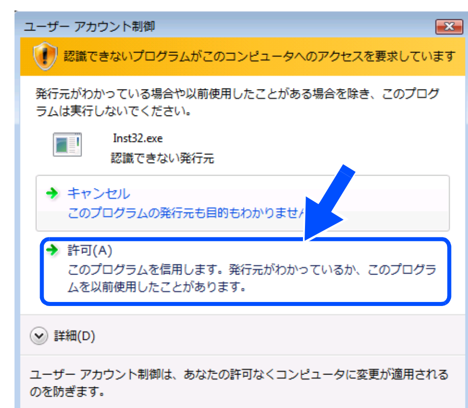


3 ［BRAdmin Light］をクリックする

- 画面の指示に従って、インストールを進めてください。



- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

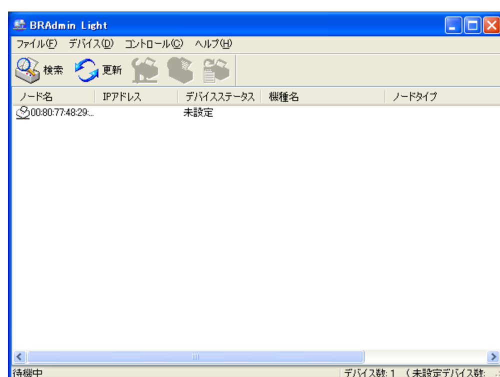


BRAdmin Lightでネットワークの設定をする

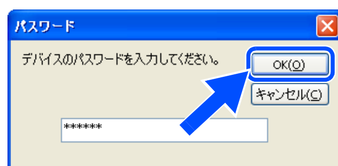
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］を選ぶ

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

2 設定する機器をダブルクリックして選ぶ



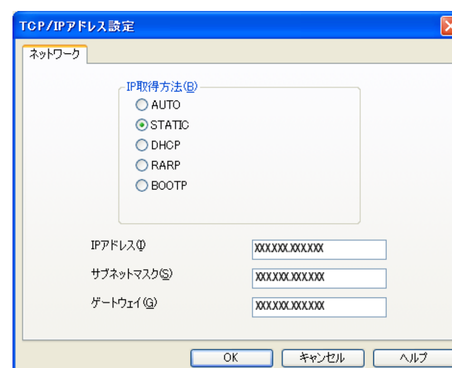
パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。



補足

- ●お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。
- ●パスワードはBRAdmin Lightで変更することができます。

3 IP取得方法よりIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する



4 ［OK］をクリックする

ネットワークの設定が本製品に保存されます。

注意

Windows®で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、BRAdmin Lightの自動検索機能を利用できません。利用する場合は、ファイアウォールの機能を無効にしてください。詳しくは、「セキュリティソフトウェアについて」P.32 を参照してください。

補足

BRAdmin Lightを使ってネットワークを設定する方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

MacintoshでBRAdmin Lightを使う

BRAdmin Lightはドライバをインストールしたときに同時にインストールされています。

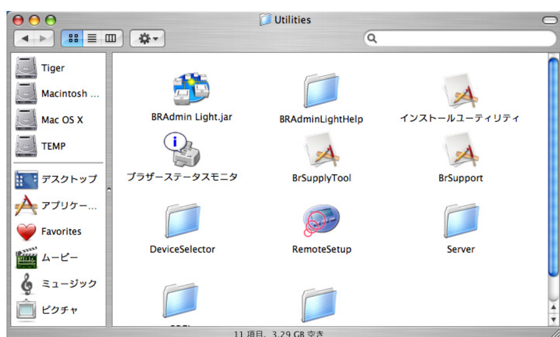
補足

● 本製品のIPアドレスは、ネットワーク上のDHCPサーバで自動で設定されます。自動で設定されない場合は、以下の手順に従ってBRAdmin Lightを使用して本製品のIPアドレスを設定してください。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

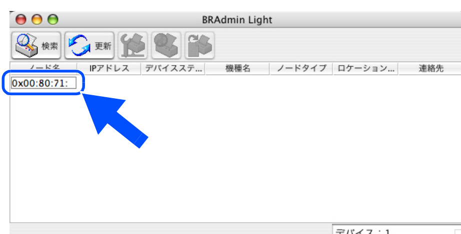
● バージョン1.4.2以降のJavaがインストールされている必要があります。

1 **デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選ぶ**

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。



2 **新しいデバイスをダブルクリックする**



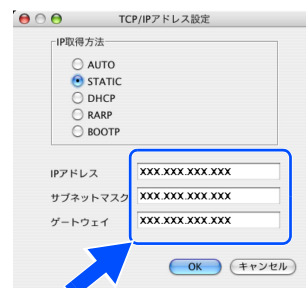
パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

補足

● お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。

● パスワードはBRAdmin Lightで変更することができます。

3 **IP取得方法よりIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する**



4 **［OK］をクリックする**

ネットワークの設定が本製品に保存されます。

困ったときは（トラブル対処方法）

ネットワークに関するトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

無線LANアクセスポイントに接続できない P.29
インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない P.30
印刷/スキャンできない P.30

ネットワークを確認するには

ネットワーク機器に問題がないか調べるには P.31
セキュリティソフトウェアについて P.32
ネットワークの設定がうまくいかないときは P.32

無線LANアクセスポイントに接続できない

無線LAN対応モデルは、MFC-8890DWです。MFC-8380DNは、無線LAN接続はご利用になれません。

以下を確認してください。

- **無線LANのセキュリティ情報（SSID、パスワード）は正しいですか?**
  無線LANのセキュリティ情報（SSID、パスワード）を確認し、手動で無線LANを設定し直してください。
  「操作パネルで手動設定する」P.13

- **お使いの無線LANアクセスポイントは、WPS機能またはAOSS™機能対応機器ではありませんか？**
  これら機能の対応機器であれば、無線LANアクセスポイントに下記のようなロゴマークが貼り付けられていたり、パッケージや取扱説明書に記載があります。





  WPSやAOSS™機能を使用すれば、本製品と無線LANアクセスポイントの接続が簡単にできます。もし、まだ自動設定を試していなければ、一度お試しください。
  「WPS機能で自動設定する」、「AOSS™機能で自動設定する」P.12

- **無線LANアクセスポイントと本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？**
  本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線LANアクセスポイントに近づけてください。
  また、セットアップ時は1m以内に近づけてお試しください。

- **近くに無線LANに影響を及ぼすものはありませんか？**
  本製品の近くに、他の無線LANアクセスポイントやパソコン、Bluetooth® 対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

以下の場合は、お使いのブロードバンドルータなどのメーカーにお問い合わせください。

- **無線LANアクセスポイントが正常に動作していますか？**
  無線LANを内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。
  接続できない場合は、無線LANアクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。

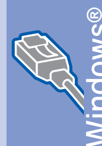
- **アクセス制限を設定していませんか？**
  無線LANアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング機能を使用している場合は、本製品のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

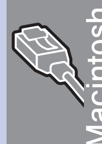
補足
本製品のMACアドレスを調べるには、ネットワーク設定リストを印刷して P.24 、「MAC Address」の行を確認してください。P.13 を参照してください。

- **SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？**
  無線LANアクセスポイントがSSIDの隠ぺい（SSIDステルスモード）に設定されているときは、本製品から無線LANアクセスポイントのSSIDを自動的に見つけることはできません。下記の手順にしたがって、本製品のSSIDを操作パネルから入力してください。

☞次ページへ続く

有線LAN接続


Windows®


Macintosh

無線LAN接続


Windows®


Macintosh

設定の確認とネットワークユーティリティ

困ったときはトラブル対処方法

付録

(1) メニュー 7 PQRS 2 ABC 2 ABC を押す
(2) ▲▼ で［<New SSID>］を選び、OK を押す
(3) SSIDを操作パネルから入力する

- **パスワードの設定は正しいですか？**
  大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。

- **近くで別の無線機器を使用していませんか？**
  近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線LANアクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号5以上）設定してください。

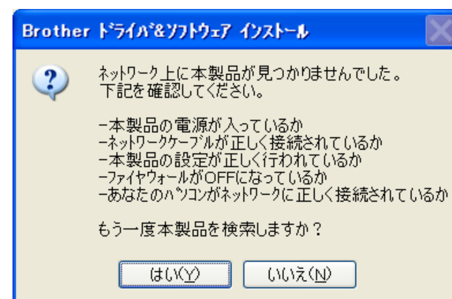
無線LANのセキュリティ情報の調べ方

注意

無線 LAN アクセスポイントに設定されているセキュリティ情報（SSID、パスワード）は本製品からは調べることができません。

- **セキュリティ情報（SSID，パスワード）の調べ方はお使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に記載があります。よくお読みください。**
- **初期設定のセキュリティ情報（SSID，パスワード）は無線 LAN アクセスポイントにシールで貼られていたり、無線 LAN アクセスポイントのメーカー名や型番である可能性があります。**
  取扱説明書の記載と照合してみてください。
- **上記の方法でセキュリティ情報（SSID，パスワード）がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者にお問い合わせください。**

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない



以下を確認してください。

1 **お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているか確認する**
「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.31

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**
「セキュリティソフトウェアについて」P.32

3 **設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する**
「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.32

印刷/スキャンできない

以下を確認してください。

1 **お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているか確認する**
「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.31

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**
「セキュリティソフトウェアについて」P.32

3 **設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する**
「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.32

4 ルータやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品のIPアドレスを繰り返し変更した直後には、IPアドレス設定に間違いがなくても正常に動作しない可能性があります。ルータやハブ（HUB）の電源を入れなおしてください。

5 古い印刷ジョブを削除する

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。

Windows®の場合

プリンタフォルダ内のプリンタアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンタフォルダの表示方法
<Windows Vista®>
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。
<Windows® XP>
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。
<Windows® 2000>
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

ここで印刷/スキャンなどができなかった場合は、一度ドライバとソフトウェアをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従って再度インストールすることをおすすめします。

補足

アンインストール方法（Windows®の場合）

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］を選び、［アンインストール］をクリックします。画面の指示に従ってください。

Macintoshの場合

（1）Dock に表示されている対象のプリンタのアイコンをクリックする
（印刷ジョブが残っていない場合、アイコンは表示されません）
（2）削除したいジョブを選択して［削除］をクリックする

ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下を確認してください。

- **本製品の電源は入っていますか？**
  電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、ユーザーズガイド 基本編の「こんなときは」を参照してエラーを解除してください。

- **ネットワーク接続**
  接続したルータやハブ（HUB）のランプは点灯/点滅していますか？
  本製品を接続しているLAN ポートのリンクランプを確認します。
  ・ランプが点灯/ 点滅している場合
  接続には問題ありません。
  ・ランプが点灯/ 点滅していない場合
  物理的な接続に問題があるようです。以下の項目を確認してください。

1 ハブ（HUB）またはルータなどのLANポートにパソコンと本製品が正しく接続されている？

接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。ストレートケーブル以外は使用しないでください。
他のケーブルで接続しなおしてください。

2 ルータ / ハブ（HUB）のリンクランプが点灯/点滅している？

一般的に、ルータ/ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯/点滅で接続状態を確認できます。
点灯/点滅していない場合には
- ほかのLAN ポートに接続しなおす
- ほかのLAN ケーブルに差し換える

ことで改善されるかお試しください。
それでも点灯/点滅しない場合は、ハブ(HUB)または、ルータのメーカーにご相談ください。

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

注意

セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールが完了できないことがあります。この場合は、一時的にセキュリティソフトを停止し、ドライバのインストールをやり直してください。

印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。拒否をした場合、セキュリティの解除方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

本機のネットワーク機能をご利用になるとき

以下の機能をご利用いただく場合は、セキュリティソフトのファイアウォール設定を行う必要があります。

- **ネットワークスキャン**
- **ネットワークPCファクス受信**
- **BRAdmin Light**

それぞれのセキュリティソフトの設定で、下記のポート番号を追加してください。
ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

機能	名称*	ポート番号	プロトコル (TCP/UDP)
ネットワークスキャン	例) Brother NetScan	54925	UDP
ネットワークPCファクス受信	例) Brother PC-FAX RX	54926	UDP
BRAdmin Light	例) SNMP	161	UDP

*：名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IP アドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。

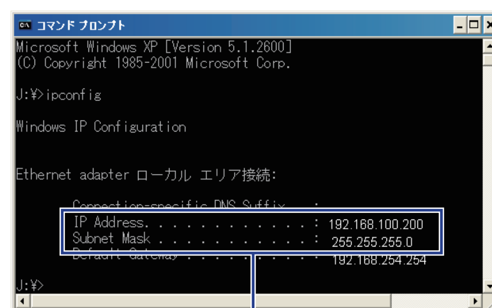
1. パソコンのネットワーク情報を調べる

Windows®の場合

1 **［スタート］メニューから［プログラム］-［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックする**

2 **「ipconfig」と入力し、Enterキーを押す**

3 **「IP Address（IPアドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する**



ここを調べる

（A）パソコン側

IP Address (IPアドレス)	.	.	.	
Subnet Mask (サブネットマスク)	.	.	.	

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 「exit」と入力し、Enterキーを押して終了する

Mac OS X 10.3.9〜10.4.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］-［ネットワーク］をクリックする

3 ［設定］-［TCP/IP］をクリックする

4 「IP アドレス」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Mac OS X 10.5.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］-［ネットワーク］をクリックする

3 ［詳細］-［TCP/IP］をクリックする

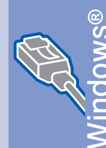
4 「IPv4アドレス（IPアドレス）」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

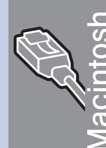
IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。









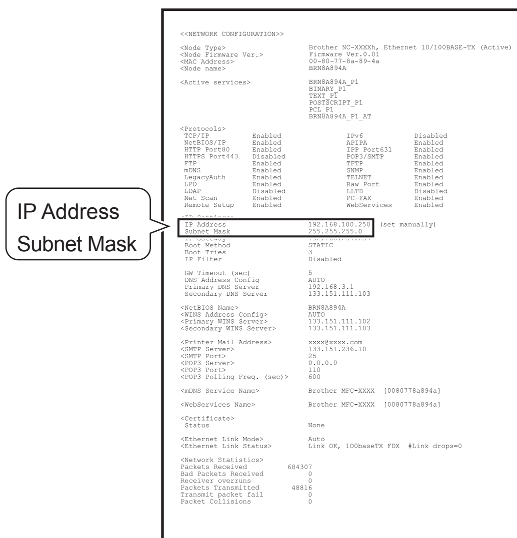
☞次ページへ続く

2. 本製品のネットワーク情報を調べる

1 ネットワーク設定リストを印刷する

「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24

2 「IP Address（IPアドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する




```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                   Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>          Firmware Ver.0.01
<MAC Address>                 00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                   BRN8A894A

<Active services>             BRN8A894A_P1
                              BINARY_P1
                              TEXT_P1
                              POSTSCRIPT_P1
                              PCL_P1
                              BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled              IPv6            Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled              APIPA           Enabled
 HTTP Port80     Enabled              IPP Port631     Enabled
 HTTPS Port443   Disabled             POP3/SMTP       Enabled
 FTP             Enabled              TFTP            Enabled
 mDNS            Enabled              SNMP            Enabled
 LegacyAuth      Enabled              TELNET          Enabled
 LPD             Enabled              Raw Port        Enabled
 LDAP            Disabled             LLTD            Disabled
 Net Scan        Enabled              PC-FAX          Enabled
 Remote Setup    Enabled              WebServices     Enabled

 IP Address                   192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                  255.255.255.0
 Boot Method                  STATIC
 Boot Tries                   3
 IP Filter                    Disabled

 GW Timeout (sec)             5
 DNS Address Config           AUTO
 Primary DNS Server           192.168.3.1
 Secondary DNS Server         133.151.111.103

<NetBIOS Name>                BRN8A894A
<WINS Address Config>         AUTO
<Primary WINS Server>         133.151.111.102
<Secondary WINS Server>       133.151.111.103

<Printer Mail Address>        xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>                 133.151.236.10
<SMTP Port>                   25
<POP3 Server>                 0.0.0.0
<POP3 Port>                   110
<POP3 Polling Freq. (sec)>    600

<mDNS Service Name>           Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>            Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                       None

<Ethernet Link Mode>          Auto
<Ethernet Link Status>        Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received           684307
Bad Packets Received            0
Receiver overruns               0
Packets Transmitted         48816
Transmit packet fail            0
Packet Collisions               0
```

（B）本製品側

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

3. パソコンのIPアドレスと本製品のIPアドレスを比較する

「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」P.32で書き留めた（A）の値と、「2 本製品のネットワーク情報を調べる」P.34で書き留めた（B）の値を比較します。

（A）パソコン側

IP Address（IP アドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

（B）本製品側

IP Address（IP アドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

1 （A）と（B）の太枠の部分が同じであることを確認する

例

（A）パソコン側

IP Address（IP アドレス）	192.	168.	123.	011

（B）本製品側

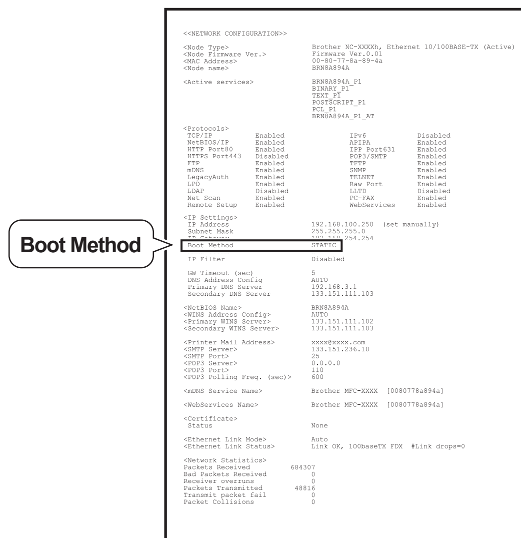
IP Address（IP アドレス）	192.	168.	123.	250

2 灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する

3 灰色の部分の値が、2～254の範囲内であることを確認する

4. 本製品のIPアドレス取得方法を確認する

「2 本製品のネットワーク情報を調べる」P.34 で印刷したネットワーク設定リストの、「Boot Method」の項目を確認します。




```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                 Brother NC-XXXXh, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>        Firmware Ver.0.01
<MAC Address>               00-80-77-8a-89-4a
<Node name>                 BRN8A894A

<Active services>           BRN8A894A_P1
                            BINARY_P1
                            TEXT_P1
                            POSTSCRIPT_P1
                            PCL_P1
                            BRN8A894A_P1_AT

<Protocols>
 TCP/IP          Enabled          IPv6           Disabled
 NetBIOS/IP      Enabled          APIPA          Enabled
 HTTP Port80     Enabled          IPP Port631    Enabled
 HTTPS Port443   Disabled         POP3/SMTP      Enabled
 FTP             Enabled          TFTP           Enabled
 mDNS            Enabled          SNMP           Enabled
 LegacyAuth      Enabled          TELNET         Enabled
 LPD             Enabled          Raw Port       Enabled
 LDAP            Disabled         LLTD           Disabled
 Net Scan        Enabled          PC-FAX         Enabled
 Remote Setup    Enabled          WebServices    Enabled

<IP Settings>
 IP Address                 192.168.100.250  (set manually)
 Subnet Mask                255.255.255.0
 Boot Method                STATIC
 IP Filter                  Disabled

 GW Timeout (sec)           5
 DNS Address Config         AUTO
 Primary DNS Server         192.168.3.1
 Secondary DNS Server       133.151.111.103

<NetBIOS Name>              BRN8A894A
<WINS Address Config>       AUTO
<Primary WINS Server>       133.151.111.102
<Secondary WINS Server>     133.151.111.103

<Printer Mail Address>      xxxx@xxxx.com
<SMTP Server>               133.151.236.10
<SMTP Port>                 25
<POP3 Server>               0.0.0.0
<POP3 Port>                 110
<POP3 Polling Freq. (sec)>  600

<mDNS Service Name>         Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<WebServices Name>          Brother MFC-XXXX  [0080778a894a]

<Certificate>
 Status                     None

<Ethernet Link Mode>        Auto
<Ethernet Link Status>      Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received         684307
Bad Packets Received          0
Receiver overruns             0
Packets Transmitted       48816
Transmit packet fail          0
Packet Collisions             0
```

- 「Boot Method」が「AUTO」の場合
  本製品をパソコンと同じルータやハブに接続し、本製品の電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、以下を参照して手動で設定してください。
- 「Boot Method」が「STATIC」の場合
  本製品の IP アドレスを以下のように設定してください。

IP Address (IP アドレス)	XXX.　XXX.　XXX.	XXX

太枠内
「1 パソコンのネットワーク情報を調べる」P.32 の（A）と同じ値を設定してください。
灰色の部分
ネットワークに参加しているすべてのパソコンと異なる、2～254の値を設定してください。
この場合、他の機器と同じ IP アドレスにならないように、200～250の範囲内でIP アドレスを選択することをおすすめします。（例えば、本製品の IP アドレス を 192.168.123.250 に割り当てます。）
詳しくは、お使いのルータの取扱説明書またはルータ提供元にお問い合わせください。

補足

本製品のIPアドレス設定方法

・ MFC-8380DNの場合
（1）メニュー 7 PQRS 1 2 ABC を押す
（2） IPアドレスを入力し OK を押す
設定済みの場合は、「変更しますか 1. はい 2. いいえ」と表示されます。1 を押してください。
（3）停止/終了 を押す

・ MFC-8890DWの場合
（1）メニュー 7 PQRS 1 1 2 ABC を押す
（2） IPアドレスを入力し OK を押す
設定済みの場合は、「1.変更 2.中止」と表示されます。1 を押してください。
（3）停止/終了 を押す

5. ドライバの再インストールをする

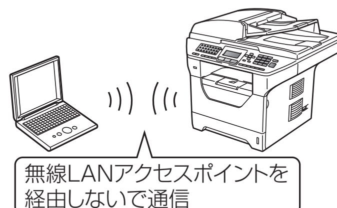
現在の設定を有効にするために、ドライバのインストールを行います。既にインストールが完了している場合は、アンインストールが必要です。（Windows®のみ）

アンインストール方法（Windows®の場合）
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］を選び、［アンインストール］をクリックします。
あとの操作は画面の指示に従ってください。

用語集

●アドホックモード

無線LANアクセスポイントを経由せずに、無線機器同士が1対1で直接通信を行う方式です。
一時的に接続するゲーム機等に適した通信方式です。このアドホックモードに対して、無線 LAN アクセスポイントを経由する無線通信の方式を「インフラストラクチャモード」と呼びます。



補足

このモードではインターネットの接続設定が失われます。本製品との接続は後述のインフラストラクチャモードをお勧めします。

●暗号化（セキュリティ）方式

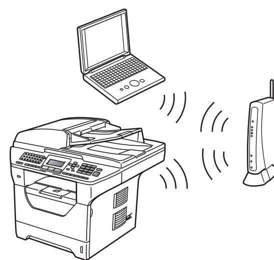
インターネットなどのコンピュータ・ネットワークを通じて情報を送るとき、途中で他人に見られても解読できないようにすることを暗号化と言います。
この暗号化にはさまざまな様式があり、特に無線LANではWEPやTKIP、AESなどが利用されています。

補足

暗号化された内容は、その暗号方式に従って解読をしなければ内容を読めません。解読をするものを鍵（キー＝パスワード）といいます。鍵は無線LANアクセスポイントで調べて用意しておく必要があります。

●インフラストラクチャモード

無線LANアクセスポイントを経由して通信する方式です。
無線機器が複数あり、同時にインターネットにも接続したい場合に適した通信方式です。特に理由がなければ、通常はインフラストラクチャモードを利用してください。
このインフラストラクチャモードに対して、無線 LAN アクセスポイントを経由しない無線通信の方式を「アドホックモード」と呼びます。



補足

有線LANと同じネットワーク構成が適用できます。

●ゲートウェイ

ネットワークの「出入り口」の役割を果たすルータなどの機器を指します。一般家庭ではインターネットへの出入り口になります。

●サブネットマスク

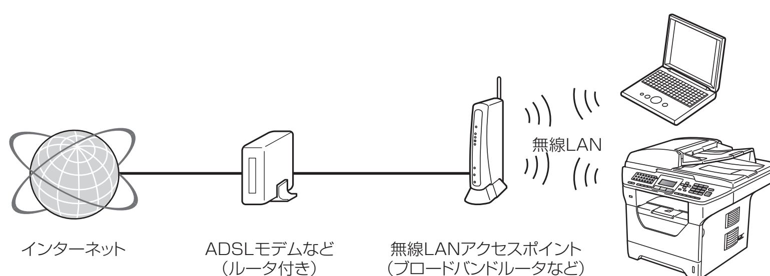
IPアドレスの中で、どこまでがネットワーク全体のアドレスで、どこからがホスト（パソコン、プリンタなどのネットワーク機器）用のアドレスかを識別するために使われています。

補足

通常は、クラスCと呼ばれる「255.255.255.0」の値でご利用ください（多くのアクセスポイントの初期値）。なお、DHCPサーバで自動割付されている場合は意識せず利用できます。

●無線LANアクセスポイント

無線通信の中継装置です。
無線ブロードバンドルータ、無線LAN親機と呼ばれたりします。



補足

本製品が無線LANアクセスポイントに接続する為には、無線LANアクセスポイントの情報が必要になります。

●ルータ

ネットワーク同士を相互接続するときに使用する機器です。
ブロードバンドルータを使用してインターネットに接続をしている場合は、ルータがゲートウェイの役割をしています。

補足

ルータに無線機能が付くと無線LANアクセスポイントとも呼ばれます。つまり、機能を指して呼び方が変わることがありますので、混乱しないようにしてください。

●AOSS（エーオーエスエス）

バッファロー社が開発した無線LAN製品に搭載している技術です。
無線LANを利用するには複雑な設定が必要ですが、AOSS™では、まず子機（本製品やパソコンなど）の側のAOSSボタンを押して、次に親機（無線LANアクセスポイント）の側のAOSS™ ボタンを押すだけで機器が自動的に必要な設定を行ないます。

補足

無線の知識が無くても、ボタンを押すだけで自動的に、接続の設定とセキュリティの設定を同時に行います。

●DHCP（ディーエイチシーピー）

ネットワークへパソコンやプリンタを接続するときに便利な機能です。
現在普及しているネットワークでは、接続されたパソコンやプリンタなどのIPアドレスを決める際、重複がないように管理する必要があります。他にも設定すべき項目があり、新しい機器をネットワークに接続するのは大変な作業になります。しかしDHCPを使うと、このような設定が自動的に行われるようになります。

補足

最近のブロードバンドルータには最初からDHCP機能が組み込まれています。また、CATV経由でインターネット接続するときに使うケーブルモデムにもDHCP機能が付いていることがあります。このような場合は、特に複雑な設定をしなくてもDHCPの機能を利用できます。但し、複数のルータを接続するような場合は、1台だけDHCP機能を有効にして、他は無効にする必要があります。

☞次ページへ続く

● IPアドレス（アイピーアドレス）

インターネットやネットワークに接続されたパソコンやネットワーク機器を識別するために割り振るアドレス（住所）の数字です。
「192.168.0.10」などのように、ピリオドで4つに区切られた数字で表現する IPv4という方式が普及しています。

補足

電源を切っていたりして、IPアドレスをしばらくの間自動取得していない場合、IPアドレスが再度割り振りされて変わってしまうことがあります。本製品は固定IPアドレスで使用することをお奨めします。

● IPv6（アイピーブイシックス）

インターネットプロトコル IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加などの改良を施した次世代インターネットプロトコルです。
IPv6ではIPv4の4倍のアドレスの長さとなり、提供されるアドレス空間はIPv4の2の96乗倍という広大さとなります。従って、IPアドレスの数が事実上無限に増えるため、冷蔵庫や自動車など、様々な機器にIPアドレスを割り当てることができるようになります。セキュリティ機能の強化や、モバイルへの親和性など、様々な分野から応用が期待されており、情報家電などあらゆるものがインターネットにつながる時代には必須な技術と言われています。

● MACアドレス（マックアドレス）

ネットワーク機器に登録されている機器固有の名前です。Ethernet Address（イーサネットアドレス）とも呼ばれています。
全てのネットワーク機器に、それぞれ異なるMACアドレスが与えられています。

補足

本製品では、ネットワーク設定リストを印刷してMACアドレスを確認してください。
「ネットワーク設定リストを印刷する」P.24

● MACアドレスフィルタリング（マックアドレスフィルタリング）

アクセスポイントやルータのセキュリティ機能です。
あらかじめアクセスポイントにネットワーク機器のMACアドレスを登録しておき、その登録した機器にしか通信を許可しません。

補足

登録していない不明な機器からの不正侵入をブロックすることができます。よって、この機能が有効になっているルータへ接続する場合、本製品のMACアドレスをルータに登録しておく必要があります。

● SSID（エスエスアイディー）

無線通信時のネットワーク名です。ESSID、ESS-IDと呼ぶこともあります。
IEEE 802.11シリーズと呼ばれる無線LANのネットワークで使用され、最大32文字までの英数字を用いて任意に設定することができます。無線LANアクセスポイントのメーカーにより、初期値は異なります。

補足

無線LANアクセスポイントは定期的に電波を発信し、その中にはSSIDの情報も含まれています。つまり第3者からSSIDの存在が容易に調べられます。このような場合、SSIDの隠ぺい（ステルス機能）により見えなくすることもできます。

● TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

インターネットなどのネットワーク通信で広く使われているプロトコル（コンピュータ同士が通信するために使う共通の言葉）です。

● WEP（ウェップ）

無線LANの規格であるIEEE802.11に、データを暗号化して送受信する機能が追加され、これを、WEP（暗号化）機能と呼んでいます。
最近の無線LANの機器は、ほとんどがWEP暗号化に対応しています。

●WPA/WPA2（ダブリューピーエー /ダブリューピーエーツー）

無線LANの業界団体Wi-Fi Allianceが発表した無線セキュリティ規格で、WEP暗号より強力な暗号化方式であるTKIP/AES暗号を使用しています。

補足

本製品ではWPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）をサポートしています。

●WPS（ダブリューピーエス）

無線LAN は、電波を傍受されると通信データを盗まれる可能性があるので、セキュリティの設定が欠かせません。WPSとは、Wi-Fi Allianceが考案した、簡単に接続設定できる規格です。

親機（無線LANアクセスポイント）も子機（本製品やパソコンなど）も WPSに対応していれば、それぞれのセットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。または、PINと呼ばれる機器固有の番号を入力・登録するPINコード方式があります。

補足

本製品では、ボタンを押すだけのプッシュボタン方式とPINコード方式の2種類の設定方式に対応しています。

仕様

有線LAN

項目	内容	
モデル名	NC-6800h type2	
対応 OS	Windows® 2000 Professional/XP Professional/XP Professional X64 Edition および Windows Vista®、Windows Server® 2003/2003 X64 Edition/2008 Mac OS X 10.3.9 以降	
ネットワーク	10/100 BASE-TX	
プロトコル	IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP Client and Server、POP before SMTP、SMTP AUTH、APOP、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMP、WebServicesPrint、SNTP、CIFS Client、SSL/TLS、LLTD responder、LDAP（MFC-8890DW のみ）、POP3/SMTP（MFC-8890DW のみ）
	IPv6	NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP Client and Server、POP before SMTP、SMTP AUTH、APOP、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMPv6、WebServicesPrint、SNTP、CIFS Client、SSL/TLS、LLTD responder、LDAP（MFC-8890DW のみ）、POP3/SMTP（MFC-8890DW のみ）

無線LAN（MFC-8890DWのみ）

項目	内容	
モデル名	NC-7600w type2	
対応 OS	Windows® 2000 Professional/XP Professional/XP Professional X64 Edition および Windows Vista®、Windows Server® 2003/2003 X64 Edition/2008 Mac OS X 10.3.9 以降	
ネットワーク	IEEE802.11b/g ワイヤレス	
周波数	2400 ～ 2497 MHz	
RF チャンネル	802.11b（1-14）、802.11g（1-13）	
接続モード	アドホックモード（802.11b のみ）、インフラストラクチャモード	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度） （数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）	
ネットワークのセキュリティ	WEP 64/128、WPA-PSK（TKIP、AES）、WPA2-PSK（AES）、LEAP（CKIP）、EAP-FAST（TKIP/AES）	
プロトコル	IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP Client and Server、POP before SMTP、SMTP AUTH、APOP、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMP、WebServicesPrint、SNTP、CIFS Client、SSL/TLS、LLTD responder、LDAP、POP3/SMTP
	IPv6	NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP Client and Server、POP before SMTP、SMTP AUTH、APOP、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMPv6、WebServicesPrint、SNTP、CIFS Client、SSL/TLS、LLTD responder、LDAP、POP3/SMTP
電磁放射	VCCI Class B	

商標について

Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64 の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、Safariは、Apple Inc.の登録商標です。
AOSSは株式会社バッファローの商標です。
BROADCOM、SecureEasySetup および SecureEasySetupのロゴは、Broadcom Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Wi-Fi、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Access、Wi-Fi Protected Setupは、Wi-Fi Allianceの米国およびその他の国における登録商標です。
Norton Internet Security は、Symantec Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の商標です。
Intel、Intel Coreは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
IBMは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。